

下水道事業会計

1 事業の実績

(1) 業務概括

本年度は、汚水事業では、前年度同様、未普及地域における汚水管渠布設事業を進めるとともに、施設の老朽化対策及び耐震化を実施した。

雨水事業では、豪雨による浸水被害の対策として、雨水幹線及び雨水貯留施設の工事等に取り組んだ。

財政面では、下水道使用料が前年度と比較して減少しており、かつ、維持管理に係る費用や企業債の未償還残高が増加している。

施設及び業務実績は、次表のとおりである。

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 数	増減率 (%)
行政区域内人口 (人) A	301,612	302,122	△510	△0.2
処理区域内人口 (人) B	264,225	262,379	1,846	0.7
水洗化済人口 (人) C	232,099	230,407	1,692	0.7
普及率(対人口) (%) B/A	87.6	86.8	0.8	/
水洗化率 (%) C/B	87.8	87.8	0	/
全体計画面積 (ha) D	6,481	6,481	0	0
処理区域面積 (ha) E	5,518	5,450	68	1.2
普及率(対面積) (%) E/D	85.1	84.1	1.0	/
管渠総延長 (km)	1,406	1,382	24	1.7
職員数 (人)	50	50	0	0
※()内は短時間勤務職員数で外数	(3)	(6)	(△3)	
現有処理能力 (m ³ /日) F	118,000	118,000	0	0
現在晴天時平均処理水量(m ³ /日) G	71,685	73,364	△1,679	△2.3
現在最大処理水量 (m ³ /日)	84,232	93,110	△8,878	△9.5
施設利用率 (%) G/F	60.8	62.2	△1.4	/

(2) 処理人口及び普及率等の主な増減の内容

処理区域内人口は、毎年度増加を続け、本年度も前年度比 1,846 人 (0.7%) の伸びとなっている。

普及率(対人口)は、処理区域内人口の増加により、前年度より 0.8 ポイント上昇して 87.6%である。

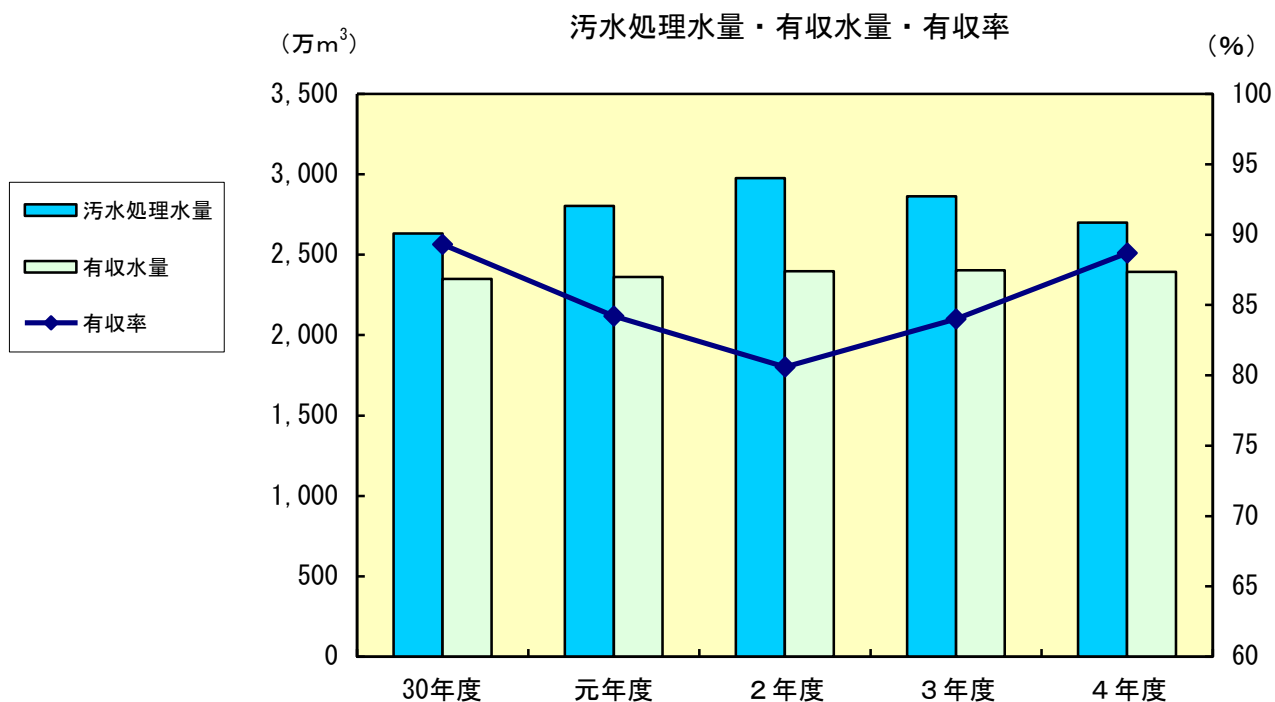
処理区域面積は、市全体の計画面積 6,481ha に対して 5,518ha で、前年度比 68ha (1.2%) 増加している。普及率(対面積)は、前年度より 1 ポイント上昇して 85.1%である。

管渠総延長は、前年度比 24km (1.7%) 増加して 1,406km となっている。

施設利用率は、施設の平均的な稼働状況を示すものである。本年度は、前年度から 1.4 ポイント低下して 60.8%となっている。低下した理由は、平均処理水量が減少したためである。

(3) 汚水処理水量、有収水量及び有収率の主な増減の内容

汚水処理水量は、前年度と比較すると、1,630,035 m³の減となっており、有収水量も前年度より97,565 m³減少している。有収率は、前年度から4.7ポイント上昇して88.7%となっている。
 なお、年間汚水処理水量、有収水量及び有収率の推移は、次表のとおりである。



(単位：m³・%)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
汚水処理水量 A	26,309,195	28,030,353	29,773,506	28,631,183	27,001,148
有収水量 B	23,491,734	23,606,196	23,983,228	24,042,195	23,944,630
無収水量	2,817,461	4,424,157	5,790,278	4,588,988	3,056,518
有 収 率 B/A	89.3	84.2	80.6	84.0	88.7